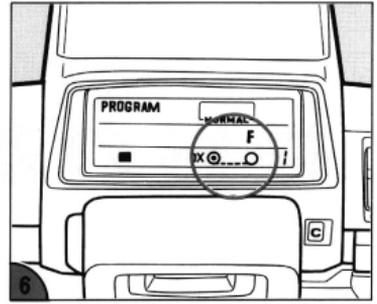
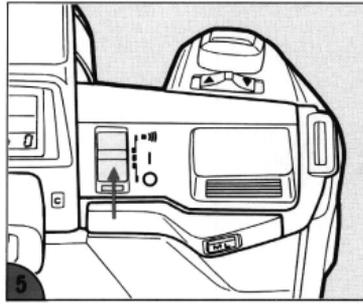


4. 図のように、裏ぶたを閉じます。

5. メインスイッチをON [I・●] にすると、シャッターがきかれては自動的に巻上げられ、フィルムの1枚目のところまで空送りされます。

- フィルム情報窓で、ボディに入っているフィルムの種類が確認できます。
- メインスイッチを先にON [I・●] にしておいてから裏ぶたを閉じても、1枚目まで空送りされます。



6. フィルムカウンターが1になると自動的に止まり、上図のように表示されます。表示パネルのパトローネマークが点灯し、巻上げに連動してフィルム走行マークと巻取りマークが点滅します。

表示パネルにパトローネ・フィルム走行・巻取りのマークが出ないときは、フィルムが正しく巻かれていません。裏ぶたを開けて、フィルムを正しく入れ直してください。

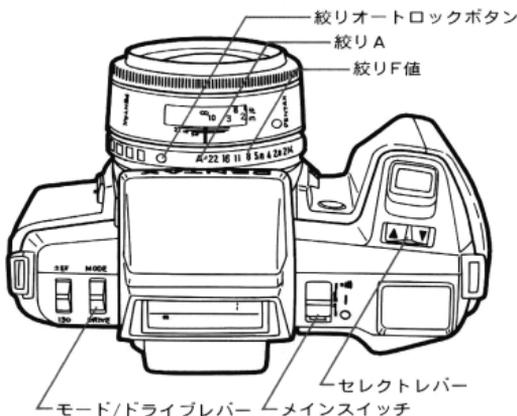
撮影の基本

Fレンズ・露出モードのセット

オートロック切換え

左図のレンズの絞りをA [オート] にするときは、絞りオートロックボタンを押しながら、絞りA [緑色] を赤線指標に合わせると、Aロックされます。Aから解除するときも、絞りオートロックボタンを押しながら、A以外の各F値へ回します。

- 絞りオートロックボタンは、Aと最小絞り [F22 など] の境を越すときだけ押します。



絞りの位置によって次の露出モードが得られます。

- A [オート]
 - プログラム自動露出
 - ・高速優先プログラム
 - ・ノーマルプログラム
 - ・深度優先プログラム
 - シャッター優先自動露出
- 各F値 [A以外]
 - 絞り優先自動露出
 - マニュアル露出
 - 100 [1/100秒固定]
 - bulb [バルブ]

露出モードのセット

露出モードをセットするときは、メインスイッチをON [I・III] にしてください。

左図のモード/ドライブレバーをモード側に押しながら、セレクトレバーのアップ[▲]またはダウン[▼]レバーを一回押すごとに表示が移動し、押し続けると連続して移動を繰り返します。

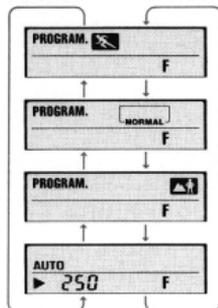
[右表は表示パネルの移動を示します]

シャッタースピードのセット

シャッター優先自動露出やマニュアル露出では、セレクトレバーを押して、希望のシャッタースピードにセットします。アップ・ダウンレバーは、一回押すごとに表示が移動し、押し続けると連続して移動します。アップは2000[1/2000秒]、ダウンは1^o[1秒]の表示でストップします。

絞りがA [オート] のとき

アップレバー ダウンレバー



= 高速優先プログラム

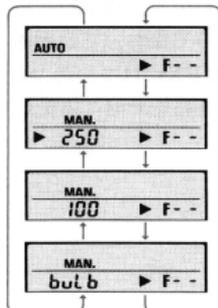
= ノーマルプログラム
[■]・[■]・[■] 3種

= 深度優先プログラム

= シャッター優先自動露出

絞りが各F値のとき

アップレバー ダウンレバー



= 絞り優先自動露出

= マニュアル露出

= 100[1/100秒固定]

= バルブ

絞りをAにセットしたときの露出モード^o

プログラム自動露出モード^o

- ・ 高速優先プログラム
- ・ ノーマルプログラム
- ・ 深度優先プログラム

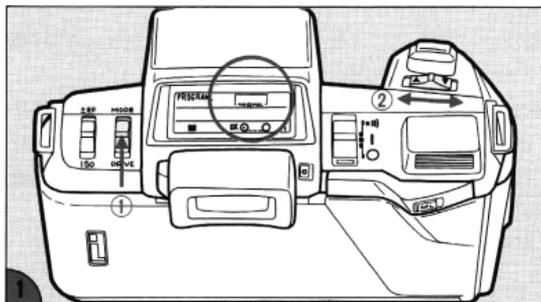
シャッター優先自動露出モード^o

- 使用できるレンズは、SMCペンタックスFおよびAレンズです。

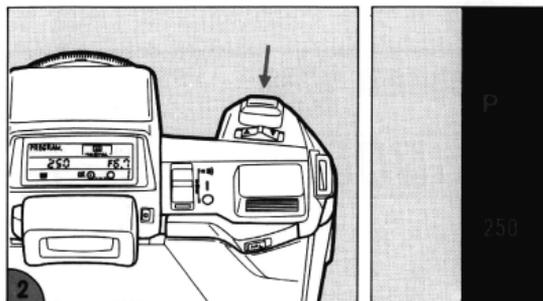
プログラム自動露出

被写体の明るさに応じて絞りとしutterスピードが同時に変化し、カメラが自動的に適正露出を選びます。わずらわしい露出調節の必要がないので、標準的な撮影やシャッターチャンスに、集中して撮影したいときに最も適したモードです。なお、SFXには3つのプログラムモードがありますので、用途に合わせてお使いください。

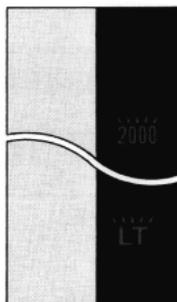
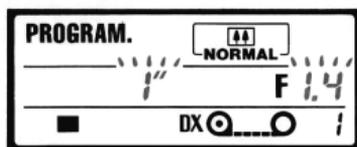
プログラム自動露出の使い方



1. プログラム自動露出では、表示パネルにプログラム [PROGRAM] と高速優先 [■]・ノーマル [NORMAL]・深度優先 [■] の3つのモードが順番に表示されます。モード側に押しながら、アップ・ダウンレバーを押して希望のプログラムにセットします。



2. シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内に P とシャッタースピード、表示パネルに「シャッタースピード」と絞り「F 値」が表示されます。



プログラム自動露出警告表示

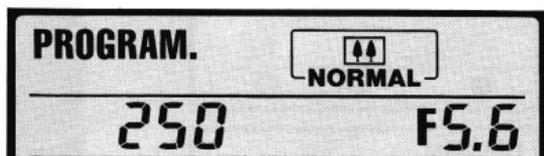
被写体が明る過ぎたり暗過ぎるときは、ファインダー内や表示パネルの表示が点滅して警告します。

1/30秒以下のシャッタースピード[黄色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使っての撮影をおすすめします。

[詳しい警告表示は26ページをご覧ください]

- ノーマルプログラムのときは、F レンズの焦点距離によって、表示パネルにワイド [W]・標準 [S]・テレ [T] のいずれかの表示がされます。

ノーマルプログラム



ノーマルプログラムは、使用レンズの焦点距離に応じて、ワイド [W]・標準 [S]・テレ [T] を自動的に切替えます。またズームレンズの焦点距離を変えたときも、自動的に切替わります。ズームレンズのマクロ機構を使うときは、自動的にワイド [W] モードになります。

S MCペンタックスAレンズを取りつけた場合は、全て標準 [S] モードになります。

ノーマルプログラムとレンズの焦点距離

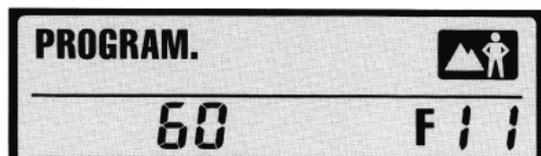
ノーマルプログラム	レンズの焦点距離
ワイド [W]	40mm 未満
標準 [S]	40mm 以上110mm 以下
テレ [T]	110mm を超える場合

高速優先プログラム

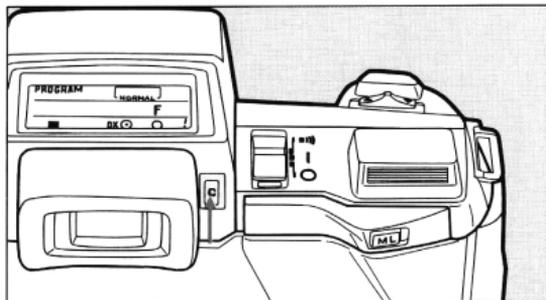


速いシャッタースピードが得られるようにプログラムされています。動きの速い被写体 [スポーツ・動物写真等]、またカメラブレの起こりやすい撮影などにお使いください。

深度優先プログラム



ピントの合う範囲 [奥行] が深くなるようにプログラムされています。近景から遠景までシャープに撮影したいときや接写などにお使いください。



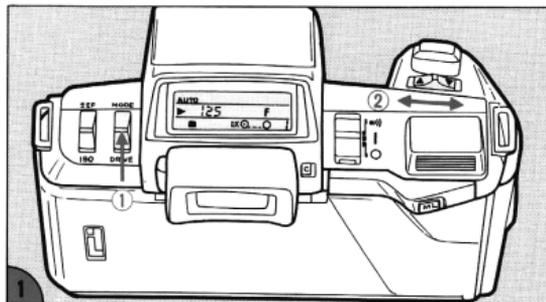
クリアーボタン

クリアーボタンを押すと、露出モードやドライブモード、露出補正などのモードを、即座に下表のような標準モードに切り換えられます。

露出モード*	レンズ絞りA位置→ノーマルプログラム
	レンズ絞りA以外→絞り優先自動露出
ドライブモード	→シングル撮影
露出補正	→±0.0

19

シャッター優先自動露出の使い方



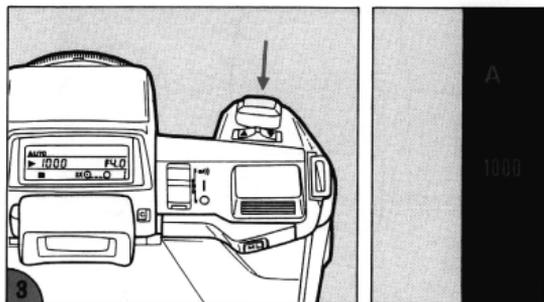
シャッター優先自動露出

希望のシャッタースピードを先に決めれば、被写体の明るさに応じて絞りF値が自動的に変わり、適正露出が得られます。一般的な撮影をはじめ、スポーツなどの動きの速い被写体に適したモードです。

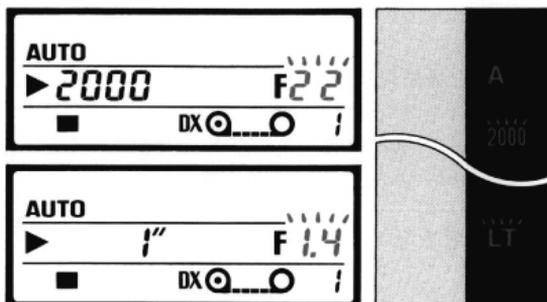
2. 速いスピードにするときはアップ。遅いスピードにするときはダウンへ押しします。

一回押すごとに表示が移動し、押し続けると連続して移動します。

1. シャッター優先自動露出では、表示パネルにオート「AUTO」と「▶シャッタースピード」が表示されます。他の表示のときは、モード側に押しながら、アップ・ダウンレバーを押してセットします。



3. シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内に A とシャッタースピード、表示パネルに指定シャッタースピードに対応する絞り F 値が表示されます。



シャッター優先自動露出警告表示
 被写体が明る過ぎたり暗過ぎるときは、ファインダー内や表示パネルの表示が点滅して警告します。遅いスピード[L T 側]または速いスピード[2000側]に変えて、点滅表示が消えれば撮影できます。1/30秒以下のシャッタースピード[黄色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使つての撮影をおすすめします。
 [詳しい警告表示は26ページをご覧ください]

絞り優先自動露出の使い方

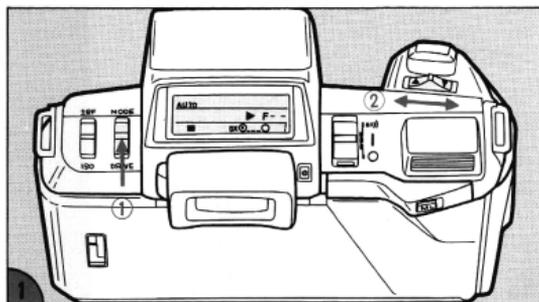
絞りを各F値にセットしたときの露出モード

絞り優先自動露出モード	
マニュアル露出モード	
100[1/100秒固定]	100・bulb は51ページ をご覧ください。
bulb[バルブ]	

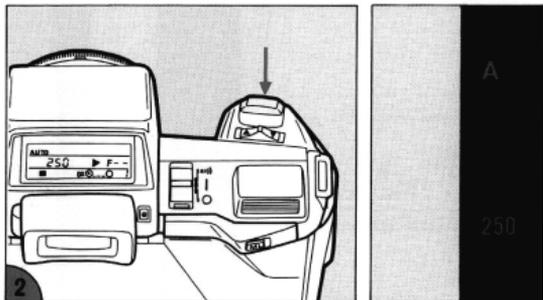
● 使用できるレンズは、SMCペンタックスFおよび A・M・ペンタックスレンズです。

絞り優先自動露出

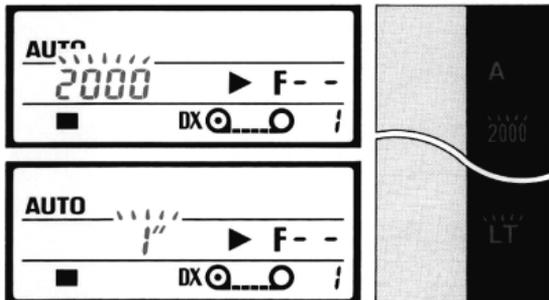
希望の絞り値を決めると、被写体の明るさに応じてシャッタースピードが自動的に変わって適正露出が得られます。絞り効果を見逃さない風景やポートレート・接写など、被写界深度を重視するときに適した撮影モードです。



1. 絞り優先自動露出では、表示パネルにオート「AUTO」と「▶ F--」が表示されます。他の表示のときは、モード側に押しながら、アップ・ダウンレバーを押してセットします。

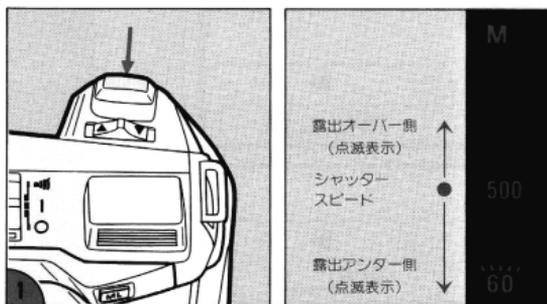


2. シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内に A とシャッタースピード、表示パネルにシャッタースピードが表示されます。



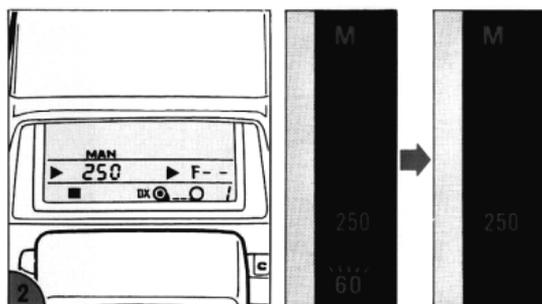
絞り優先自動露出警告表示
被写体が明る過ぎたり暗過ぎるときは、ファインダー内や表示パネルの表示が点滅して警告します。小絞り側[F22など]または開放側[F1.4など]に変えて、点滅表示が消えれば撮影できます。1/30秒以下のシャッタースピード[黄色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使つての撮影をおすすめします。
[詳しい警告表示は26ページをご覧ください]

マニュアル露出の使い方



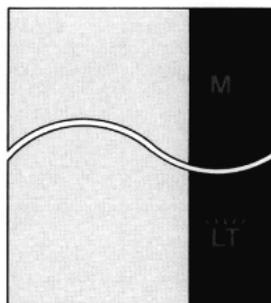
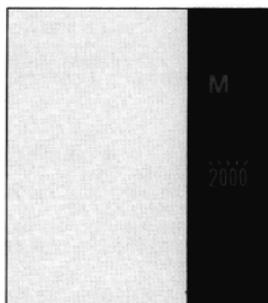
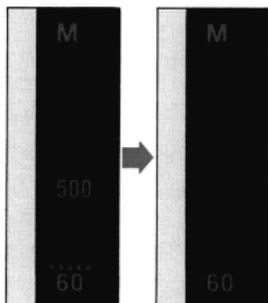
マニュアル露出モード
露出計の指示に従って、シャッタースピードや絞り値を調節すれば、適正露出が得られます。また、撮影者の作画意図や目的に合わせて[露出オーバー・アンダー]撮影することもできます。

マニュアル露出では、表示パネルにマニュアル「MAN.」と「▶シャッタースピード」「▶F--」が表示されます。他の表示のときは、モード側に押しながらアップ・ダウンレバーを押してセットします。



1. シャッターボタンを軽く押すと、ファインダー内に M とシャッタースピードが表示されます。上図のように、点灯および点滅が同時に表示したときは、露出が合っていないときです。シャッタースピードまたは絞りを調節して、点滅が消えて点灯表示だけになるようにしてください。

2. シャッタースピードを先に決めた場合
レンズの絞りリングを回してスピードの表示を点滅→点灯の位置に合わせると、適正露出になります。絞りリングを回しても適正露出にならないときは、シャッタースピードを合わせ直してください。



3. 絞り値を先に決めた場合

アップ・ダウンレバーでスピードの表示を点灯→点滅の位置に合わせて、適正露出になります。シャッタースピードを変えても、適正露出にならないときは、絞り値を合わせ直してください。

マニュアル露出警告表示

被写体が明る過ぎたり暗過ぎるときは、ファインダー内の表示が点滅して警告します。

小絞り側[F22など]または開放側[F1.4など]に変えて、点滅表示が消えれば撮影できます。

1/30秒以下のシャッタースピード[黄色]になったときは、手ぶれの危険がありますので、ストロボや三脚を使っての撮影をおすすめします。

[詳しい警告表示は26ページをご覧ください]

ファインダー内およびLCD表示パネルの露出警告表示

ファインダー内表示	表示パネル	内容
P 2000	2000 F 22	プログラム自動露出での「測光範囲外」です。そのまま撮影すると、適正露出は得られません。
P LT	1" F1.4	
A 2000	F 22	シャッター優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。「連動範囲外」は、シャッタースピードを変えれば撮影できます。
A LT	F1.4	「測光範囲外」は、シャッタースピードを変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
A 2000	2000	絞り優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。「連動範囲外」は、絞り値を変えれば撮影できます。
A LT	30"	「測光範囲外」は、絞り値を変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
M 500 125		マニュアル露出での「適正露出外」です。シャッタースピードや絞り値を変えて、点滅が消えてスピード表示がひとつになれば撮影できます。
M 250 60		
M 2000		マニュアル露出での「測光範囲外」は、シャッタースピードや絞り値を変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
M LT		
P 250		メモリーロック使用中は、ファインダー内の点滅表示で知らせてます。
P 60		バッテリー警告表示 カメラの電池が消耗して容量が少なくなったことを点滅で知らせます。

- 警告表示はファインダー内および表示パネルの点滅表示によって知らせてます。
- 測光範囲外とは、被写体の明るさが極端に明るいか暗いため、カメラの露出計が働く範囲を越えている場合です。
- 連動範囲外とは、測光範囲内でもシャッタースピードと絞り値との組み合わせが使用限界を越えている場合です。
- 測光/連動範囲は38ページをご覧ください。
- 左表の……は点滅表示です。

※測光範囲外

測光範囲外になったときの撮影方法

- 被写体が明るいときは市販のNDフィルターをご利用ください。
- 被写体が暗いときは、ストロボか他の照明光が必要です。

SFX 機能	露出モード		フォーカスモード			
	プログラム自動露出 シャッター優先自動露出	絞り優先自動露出 マニュアル露出	オートフォーカス (AFシングル・AFサーボ)	AFアダプター1.7× を組合わせたとき	マニュアルフォーカス	
交換レンズ					フォーカス表示	マット面合わせ
ペンタックスFレンズ	○	○	○	△	○	○
ペンタックスAレンズ	○	○	×	○*	○*	○
ペンタックスMレンズ	×	○	×	○*	○*	○
ペンタックスレンズ	×	○	×	○*	○*	○
タクマーレンズ	×	○*	×	×	×	○

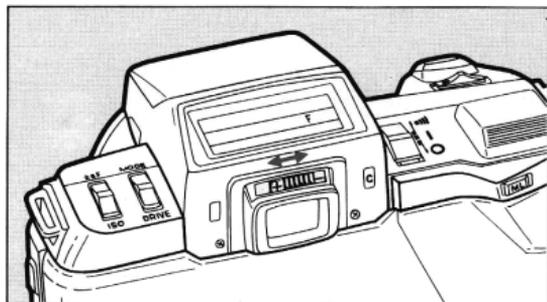
※レンズには、下記の使用制限があります。

- マニュアルフォーカスのフォーカス表示によって使う場合は、レンズの開放F値がF5.6を含めてそれ以上の明るいレンズが使用できます。
- AFアダプター1.7×と組合わせて使う場合は、レンズの開放F値がF2.8以上の明るいレンズが使用できます。[詳しくはAFアダプター1.7×の説明書をご覧ください。]

※絞り込み測光

- フォーカス表示[FI=フォーカスインジケーション]は、表示と音によって合焦を知らせます。Fレンズ以外は、フォーカスモードレバーがどの位置でも、マニュアルフォーカスにセットされます。
- 「マット面合わせ」は、フォーカス表示に関係なく周辺でピント合わせができます。なお、タクマーレンズでは、フォーカス表示は出ません。

視度調節レバー・アイカップF



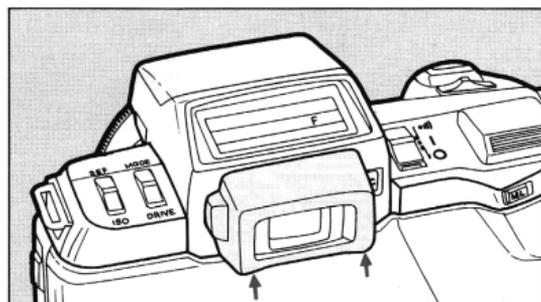
視度調節レバー

視度が合っていないとファインダー像がはっきり見えません。視度は確実に調節してください。

視度調整は、カメラを明るい方に向け、ピントは合わせない状態で視度調節レバーを左右に動かして、ファインダー中央のフォーカスフレームの線が最もはっきり見えるところで止めます。

視度調節範囲は、+1.5~-1.5D[ディオプトリー]です。

- 別売りの視度調整レンズMも使用できます。



アイカップF

アイカップFは、カメラのアクセサリ取り付け溝に差し込んで使用します。

カメラの視度調節や別売りのマグニファイヤーFを取り付けるときなどは、アイカップFは、左右[矢印]の縁を押し上げて、取りはずしてください。

- 別売りの視度調整レンズなどのアクセサリを取り付けると、アイカップFは使用できません。